

大 阪 大 学 学 外 技 術 研 修 報 告 書

令和 7 年 3 月 25 日

大阪大学総長 殿

所属部局 産業科学研究所 技術室
職 名 技術職員
氏 名 福井 宥平

1. 派遣先の機関名及び派遣期間

派遣先：筑波大学 筑波キャンパス

派遣期間：令和 7 年 3 月 5 日～令和 7 年 3 月 7 日

2. 派遣用務

総合技術研究会 2025 に参加し、RI 施設の放射線安全管理と安全衛生教育に関する情報収集を行う。

3. 研修の概要

1 日目の午後から筑波大学各施設の見学会が開催された。私は放射線・アイソトープ地球システム研究センターのタンデム静電加速器施設の見学会に参加した。

2 日目と 3 日目は特別講演、ポスター発表、口頭発表が実施され、特別講演はリモート中継会場も用意されるほど盛況であった。

4. 研修の成果と職務への活用内容

安全衛生教育と Raspberry Pi（以下、ラズパイ）の活用事例の 2 つについて今後の業務に活かせる発表を聞くことができた。安全衛生教育では、特に危険体感教材の開発に関する口頭発表が興味深かった。危険体感とは、オンデマンドの動画視聴だけではなく、対面形式で安全を確保した上で、実際に危険とされることを受講者に体験させる教育である。発表の中で紹介されたものとして、感電体験装置という物をレンタルして教育に利用していたり、工作機械のボール盤のドリルへの軍手巻き込みをさせたりと多種多様であった。産研安全講習会ではこのような危険とされる事項の動画を作成し視聴してもらっているが、実際に体験した記憶は動画視聴より強く印象に残り効果的だと感じた。

ラズパイの活用事例では、2 つの口頭発表が特に印象に残っている。1 つは定点カメラ撮影を遠隔制御する事例、もう 1 つは 4G 回線を利用してロボットを遠隔制御する

事例である。どちらも課題解決のため試行錯誤の結果ラズパイにたどり着き、利用者が使いやすい形に応用までしていた。現在ラズパイを勉強中の為、紹介のあった事例にも利用できることが分かり、本当に多くの活用法がある物なのだと改めて感じた。一通りの勉強が終われば、紹介のあった活用法をまねて産研で利用できるようにしたいと思う。

5. 研修の感想又は希望等

2019年度以来の総合技術研究会への参加であったが、やはり一度に多くの分野の情報を得られることが最大のメリットだと改めて感じた。また技術職員同士の横のつながりを作ることでもでき、このような場に参加できることは非常にありがたいと思う。今後も学外技術研修を利用させていただき、研究会で得た情報を業務に活用できれば嬉しく思う。
